

おひさまだより

2023年12月号

社会福祉法人 尚徳福社会
生麦保育園 園長 田淵弘子




木々の彩りも落ち葉に変わり、日に日に寒さが増しています。秋から冬へとバトンが繋がったようです。子どもたちは冷たい風も何のその!嬉しそうに散歩に行ったり、元気いっぱいに鬼ごっこや縄跳びしたり、この季節も楽しんでいます。

12月は幼児クラスの『お楽しみ会』があります。各クラス、オリジナルの劇や歌・合奏を行います。緊張してしまうこともあると思いますが、友だちと楽しく練習してきた過程が大切で、自分の持てる力を発揮できたらと考えています。一人一人がみんな主役です。世界にひとつだけの劇をお楽しみに!

冬休みに入る前に幼児クラスは自分のロッカーやお部屋の大掃除をします。毎日過ごす部屋への感謝や、物を大切にすることが育ってくれたら嬉しいです。綺麗になった気持ちよさをみんなで共有したいと思います。

少し早いですが、本年もたくさんのご理解とご協力をありがとうございました。冬休みはご家族で有意義にお過ごしください。年明けに元気な子どもたちに会えるのを楽しみにしています。

12の行事

9日(土) 幼児クラスお楽しみ会 (3オウさぎ組・4オきりん組・5オぞう組)	
14日(木) 英語であそぼう・バイキング (3オウさぎ組・4オきりん組・5オぞう組)	
18日(月) 乳児誕生会	
19日(火) 幼児誕生会	
20日(水) おはなし会	
21日(木) 英語であそぼう・1、2歳児交流保育	
25日(月) 避難訓練・クリスマスバイキング	
29日(金)～31(日) 年末休み	

あひる組



顔を見合わせて笑ったり、同じ空間で遊んだりと友達を意識することも多くなり、相手の存在が気になるようです。一人がテーブルの上にコップをひっくり返してお茶をこぼすと、次々真似をしてこぼす子が。。。一人がテーブルに上ると次々真似をして上る子が。。。何かあるたびに『どうしたらいいでしょうか』と相談にくる保育士には、一過性のことだからとアドバイスをしますが、それだけ真剣に子どもと向き合ってくれているのだと思います。ケガにつながるかと担任の心配をよそに、次はどんな真似が出てくるか楽しみです。これからはきっと良いことの真似っこがたくさん出てくることでしょう。

乳児クラスは感染症がどうしても広がってしまいます。体調がすぐれない時は無理をしないよう心がけましょう。

りす組



言葉のやり取りが増え、大きな成長を感じるこの頃。『あそぼ』とお友だちを誘ったり、『かして・いいよ・あとでね。。。』などのやり取りをしたりする姿も多く見られます。興味を持つおもちゃが同じだったり、友達の使っているものが欲しくなったりとトラブルにもなりますが、双方の気持ちを代弁しながらこんな時はどうしたらいいか、具体的に伝えるようにしています。言葉で自分の気持ちを言えることで、『○○くんがたたいたの』『○○ちゃんがおもちゃをかしてくれないの』など、保育士に話し、気持ちを共有することが大切だと思うので、子どもたちの声にしっかり耳を傾けてあげたいと思います。園庭で遊んでいるときは幼児クラスが優しく関わってくれ、心地よさを味わっていますが、先日はきりん組が育てているフリーズアの葉っぱを抜いたり、カメのみどりちゃんの家に砂を入れたりするいたずらも。。。(笑)

うさぎ組



年長組と縄跳びで遊んでいるときに、散歩から帰ってきたうさぎ組の子どもたち。私の跳んでいる姿を見ていたようで、給食時に部屋に行くと『えんちょうせんせいすごいね、いっぱいとべるね』と褒めてくれました。『またとんでみせて!』とリクエストもあり。。。内心『絶対に筋肉痛になる💧』と考えている私ですが、子どもたちには私がやっと跳んでいることを、年齢のことも関係なく『すごいね〜』と素直に褒めてくれました。子どもたちの綺麗な心に触れることができ、また今度、縄跳びを跳ぶところを見せてあげようと誓いました(いつになるかわかりませんが。。。)

劇の練習を見に行きましたが、一人一人が楽しそうに取り組んでいました。セリフでは恥ずかしがってしまう子もいますが、一緒に何かを作る、やり遂げる楽しさを経験する一歩を踏み出せたことでしょう。

きりん組



何かトラブルになるといつも保育士がすぐに仲立ちをするのではなく、また子どもたちが自分の気持ちを言うだけでなく、相手の気持ちに気付けるよう担任が配慮していることもあり、最近ではその様子を見ていた子どもたちがアドバイスする姿も多くあります。助言する子たちも時にチンパンカンパンで笑わせてもらっていますが、的を射ていることがあり感心することもあります。喧嘩中はお互いに険しい表情になることもありますが、素直に『ごめんね』を言った後は、何事もなかったように遊ぶことができることは見習わなければ。。。と思います。今年のお楽しみ会で、きりん組は初めて合奏にチャレンジします。歌に合わせて楽器を鳴らしますが皆嬉しそうに取り組んでいます。劇はセリフを言うときまだ照れてしまうようです。力を合わせて一枚の絵を完成させるお話なのですが、完成するのは絵だけではなく、子どもたちの気持ちの結びつきも描かれることでしょう。

ぞう組



劇で使う小道具や衣装を作ったり、配役を決めたり。。。自分たちでプロデュースする子どもたち。その過程で友達と力を合わせる楽しさを感じているようです。楽器も自分で決めました。一つ一つのパートで練習をし、みんなで楽器を合わせたときに合奏になることを伝えています。事務所にいるとその音色が聞こえてきますが、少しずつ音が合ってきているようです。当日は年長らしい成長した姿を見せてくれることでしょう。人前で表現をする楽しさを味わい、「協同性」「表現力」が育まれていきます。また友だちと協力して自分たちで作上げた劇や合奏を行うことで、得ることのできる「達成感」を子ども同士で共有してほしいです。このことが更なる自信につながることでしょう。